



リンカーン

L I N C O L N

映画で学ぶ 「相手を説得する」

対象：高校生以上（中学生も背景解説を補えば可）

名前

年 組

1 「説得」は言い負かすこと？

「説得」というと、正しさで相手を言い負かすことだと思いがち。でもそれでは相手は納得して動きません。**説得とは、相手が「動きたくなる」ようにすること**です。

 **相手を理解してから、動かす。**

うまくいかない説得

- ① 自分の正しさだけ主張し、相手の事情を見ない ② 相手を否定してから説明する（相手は心を閉じる） ③ 同じ言い方をどんな相手にもくり返す。
リンカーンは、この逆をいきました。

2 相手を説得する4つのコツ

① 相手の立場・利害を知る

説得の前に、まず相手を理解する（＝聴く）。

② 相手が「得るもの」を示す

「あなたにとっての意味」を、相手の言葉で語る。

③ 理由（データ）＋物語（たとえ）

論理だけでなく、心に残るたとえ話もそえる。

④ 誠実に、粘り強く

ウソやごまかしでなく、信頼を土台にあきらめない。

3 映画『リンカーン』とは

あらすじ（実話がもと）

1865年、南北戦争の末期。リンカーン大統領は、**奴隷制を永久になくす法律（憲法修正第13条）**を議会で可決させようとします。しかし賛成の票は足りません。リンカーンは、反対派や迷っている議員を、**一人ひとり、ちがう方法で説得**していきます。大きな理想を語り、たとえ話で心を動かし、時に現実的な取引もしながら、歴史を変える一票を集めていきます。

憲法修正第13条

1865年に成立した、アメリカ合衆国憲法の修正条項で、**奴隷制を正式に禁止**したもの。映画は、その法律が議会で可決されるまでの数か月の攻防を描いています。

大切な問い

目的が正しければ、どんな手段でもよい？ 映画には現実的な「取引」の場面もあります。「正しい目的」と「使ってよい手段」のバランスも考えてみましょう。

4 説得ワーク

映画を観て（またはあらすじから）、考えて書こう

① リンカーンの説得で「うまいな」と思った場面は？

② それは「理（論理）」と「情（気持ち）」の、どちらに訴えていた？

③ あなたが今、誰かを説得したいこと（家族・友だちなど）は？

④ そのために、相手が「大切にしていること」は何だろう？

⑤ 4つのコツを使って、どう伝える？

5 ふりかえり

説得とは、正しさで相手を _____ ことではなく、
_____ ことだと分かりました。これから、誰かを説得したいと
きは、まず _____ を考えたいです。



「相手を理解してから、動かす。」

先生・保護者へ：『リンカーン』は日本で**映倫G**ですが、南北戦争・奴隷制・議会政治を扱う内容が高度で長尺（150分）の作品です。本資料は高校生以上を主な対象としています（中学生は背景解説を補えば可）。重いテーマや票集めの取引の描写は、事前・事後に文脈と論点（目的と手段）を補ってください。